

感推第860号
令和7年3月24日

各自治体 感染症対策主管課長 様

岐阜県健康福祉部感染症対策推進課長

麻疹患者のイベント参加について（情報提供）

当県で麻疹患者が発生し、疫学調査を実施したところ、患者が感染可能期間に石川県金沢市内で開催されたイベント（ライブ）に参加していることが判明しました。

このことについて、当県及び主催者から公表は行っておりませんが、チケット販売者から購入者に対して令和7年3月24日以降に個別に注意喚起の連絡がなされる予定です。連絡を受けたイベント参加者から各自治体に相談がある可能性があるため、広く情報提供いたします。

記

1 患者

年齢・性別：20歳代・女性

ワクチン接種歴：不明

渡航歴：なし

症状：発熱、頭痛、咽頭痛、咳、結膜充血、発疹

発病日：令和7年3月15日

検査診断日：令和7年3月21日（PCR検査陽性）

2 対象施設・イベント

施設名称：本多の森 北電ホール（石川県金沢市石引4-17-1、約1,700席）

イベント名：浦島坂田船スプリングツアー2025

開催日：令和7年3月14日

参考資料（別添）：令和7年3月22日岐阜県報道発表資料

岐阜県健康福祉部感染症対策推進課
感染症対策第二係 酢谷
電話：058-272-1111（内3352）



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和7年3月22日（土） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
感染症対策推進課	感染症対策第二係	酢谷	内線 3352 直通 058-272-8453 FAX 058-278-3550

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

令和7年3月20日（木）、県内の医療機関から麻しんの発生届（臨床診断例）が提出され、県保健環境研究所で遺伝子検査を実施したところ、3月21日（金）に麻しん陽性であることが判明しました。

西濃保健所が疫学調査を実施したところ、他人に感染させるおそれがある時期（感染可能期間）に下記のとおり接触者を特定できない施設及び交通機関を利用していたことが分かりました。

本公表は、患者と接触した方への注意喚起として、広く情報提供するものです。

【麻しん患者の利用施設・交通機関】

利用日時	施設・交通機関
3月15日（土） 10:00～21:00 頃	どんどん庵一宮尾西店（愛知県一宮市竈屋3丁目7-3）
3月15日（土） 22:00～22:15 頃	ドラッグユタカ林町店（岐阜県大垣市林町10丁目1339番地1）
3月20日（木）	近鉄タクシー（岐阜県大垣市内） 患者の乗車後に同車両で下記移動をされた方 ・14:30～15:00 頃 大垣駅～長松町 ・15:30～15:45 頃 西之川町～大垣駅

【上記日時に当該施設・交通機関を利用された皆様へ】

利用日から3週間（21日間）の間に麻しんを疑う症状（別添「麻しん（はしか）について」を参照）が現れた場合は、最寄りの保健所までご連絡ください。

岐阜県内の保健所

保健所名	電話番号	保健所名	電話番号
岐阜保健所	058-380-3004	東濃保健所	0572-23-1111
西濃保健所	0584-73-1111	恵那保健所	0573-26-1111
関保健所	0575-33-4011	飛騨保健所	0577-33-1111
可茂保健所	0574-25-3111	岐阜市保健所	058-252-7187

平日時間外及び休日の場合は、アナウンスに従っていただくと守衛室等を経由して保健所につながりますので、「麻しんの件」とお伝えください。

※岐阜県外の方は、お住まいの地域の保健所へご連絡ください。

- ・施設への直接のお問い合わせは、お控えください。
- ・報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設への風評被害がないよう特段の御配慮をお願いします。

【参考情報】

1 患者概要

患者：20歳代 女性（大垣市在住）

主な症状：発熱、頭痛、咽頭痛、咳、結膜充血、発疹

現在の状況：自宅療養中

予防接種歴：不明

渡航歴：なし

2 発生までの経過等

3月15日（土） 発症（発熱、頭痛、咽頭痛）

20日（木） 医療機関を受診、麻しん発生届（臨床診断例）

21日（金） 県保健環境研究所における遺伝子検査の結果、麻しん陽性確定

〔参考〕

麻しん（はしか）について

1 症状等

潜伏期は通常10～12日間であり、発熱、咳、鼻汁、結膜充血などの症状が現れます。
2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

2 感染経路

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われており、感染する時期は、発症の1日前から解熱後3日までとされています。また、空気中での麻しんウイルスの生存期間は2時間以内とされています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

3 潜伏期間

約10日～12日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

5 予防方法

ワクチンの効果が非常に高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上が免疫を獲得します。

麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。

6 麻しんの報告数

過去5年の報告数（診断日で集計）

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
岐阜県	0	0	0	0	1	2※1
全国	10	6	6	28	45※2	22※2

※1 岐阜県：令和7年は速報値（令和7年3月22日時点、本件含む）

※2 全 国：令和6、7年は速報値（令和7年3月12日時点、本件含まず）

7 留意事項

麻しんを疑う症状があった場合は、速やかに保健所に連絡をするとともに、医療機関を受診する際は必ず受診前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝え、医療機関の指示に従い受診してください。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないよう公共交通機関の利用は避けてください。